

渡島大島の火山活動解説資料（平成 20 年 5 月）

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 火口や噴気の状況（図 1）

2 日に北海道開発局の協力により上空からの観測を実施しました。

寛保岳（中央火口丘）周辺からの噴気は認められませんでした。赤外熱映像装置¹⁾による観測では、日射の影響のため寛保岳主火口南東側内壁や北側内壁の地熱域の詳細はわかりませんでしたが、前回（2007 年 10 月）と比べて地熱域の顕著な拡大等はありませんでした。

その他、火口周辺の形状等にも特に変化はありませんでした。

1) 赤外放射温度計や赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感じて温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

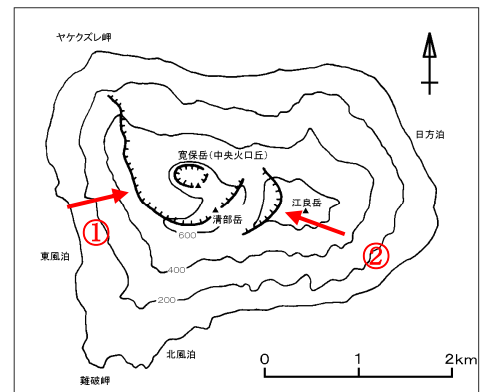


図 1 渡島大島 火口周辺図

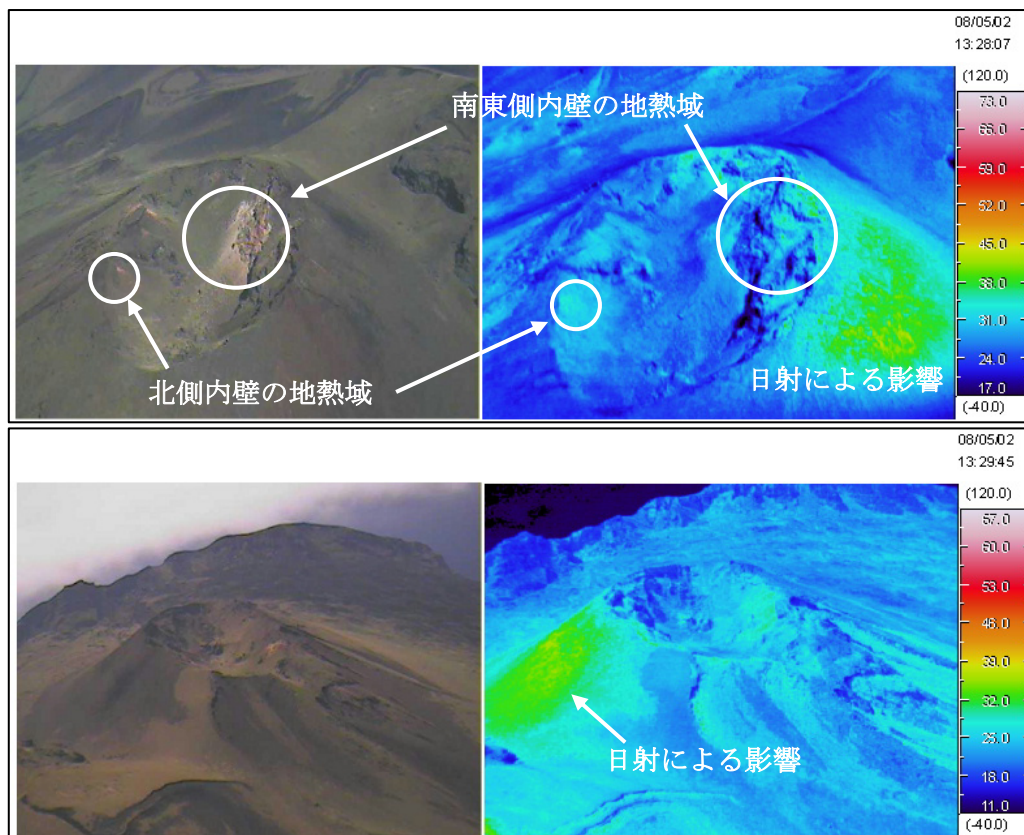


図 2 渡島大島 赤外熱映像装置¹⁾による寛保岳主火口の地表面温度分布
(2008 年 5 月 2 日、上段：図 1 の①方向上空より、下段：②方向上空より撮影)